

東大阪

長栄寺本堂

長栄寺は、近鉄奈良線 永和駅のすぐ北側の木立に囲まれた場所にある。寺伝によると、聖徳太子が自ら本尊の十一面観世音菩薩を刻み安置し、百済系の僧にて開山・創建され山号を『百済山』と号した、真言宗高野山派高貴寺の末寺だった。現在は「正法律根本道場真言宗本山」となっている。本尊は像高106cmの木造で、藤原時代の優れた仏像として、昭和46年に大阪府の文化財に指定されている。中世の戦火で荒廃していた寺を、江戸時代の後期に大阪中之島が



山門では石造の仁王さんが出迎えてくれる

所在地：東大阪市高井田元町 1-11-1

境内には入れるが本堂内部については問い合わせを。

最寄駅：近鉄奈良線永和駅下車 北へ 200m

TEL：06-6781-0797

生んだ、徳行・教化学問、いずれの面でもわが国の仏教史上稀有の偉人と称えられた真言宗の高僧慈雲尊者(じうんそんじゃ)によって再興されたとある。

現在の本堂などは、尊者や高弟たちによって造られ、境内にある弾那台は、坐禅や梵学の研究に励んだ記念すべき庵で、尊者自身が設計したものだそうである。これも昭和45年大阪府の文化財に指定されている。その意匠の匠さは驚くべきもので、修道者の庵室と本堂の龍の天井絵など、周りの下町の風景からは想像できない、歴史を感じる寺として注目すべき所であろう。 (磯田吉郎)